

[学校での取組2] 本ガイドブックを活用した指導案 p35

記事の活用の一つとして指導案例を掲載しました。学級活動等でご活用ください。

●記事⑬「文字でのやりとりは会話とどう違う？」

●記事⑭「トラブルに遭ったらどうすればいい？」

●記事⑳「動画も簡単に配信できちゃうね？」

●記事㉑「家庭でのルール作りのコツは？」

⑬「文字でのやりとりは会話とどう違う？」

P.13 をご参照下さい。

「メールで気持ちをうまく伝えられる？」		
目標 ラインやメッセージなどの短い言葉でのやりとりの際に、誤解をまねく表記があることに気付き、相手に自分の気持ちを伝えるための最善の方法を考える。		
学習活動	教師の支援	準備物
1 誤解が生じたメールでのやりとりを見て、感じたことを発表し合う。	・メールにどのような思いが込められていたかを考えるため、メールでのやりとりの部分のみを掲示する。	・うまホと学ぼう！ネット利用⑬拡大版
メールでうまく気持ちを伝えよう		
2 うまく気持ちを伝えるために大切だと思うことを話し合う。	◎予想される子どもの反応 ・絵文字を使えばいい ・長い文章にすればいい	
3 友達とメールでのやりとりを体験する。	・機器がなくても体験できるようにするため、ワークシートを活用してメールのやりとりをする。 ・表情から気持ちを読み取られないように、友達へのワークシートの渡し方を工夫する。 ・メールにこめた気持ちを確認するため、メールでのやりとり後に気持ちを話合う場を設定する。	・スマホをイメージしたワークシート ・絵文字やスタンプのシート
4 メールでのやりとりと、顔を合わせて話した時の違いについて話合う。	・やりとりがうまくいった場合でも、メールでのやりとりと会話との違いについて考える場を設定する。 ・誤解が生じる場面が少ないとしても、一度の誤解が大きなトラブルにつながる可能性があることを伝える。	
文字や絵文字だけでのやりとりは思いが伝わらないことがあるため、大事なことは直接会って話そう。		
5 本時のまとめをする。	・万が一にトラブルに巻き込まれたら、子どもだけで解決しようとせず、必ず近くの大人に相談することを伝える。	・うまホと学ぼう！ネット利用⑬拡大版

⑭「トラブルに遭ったらどうすればいい？」

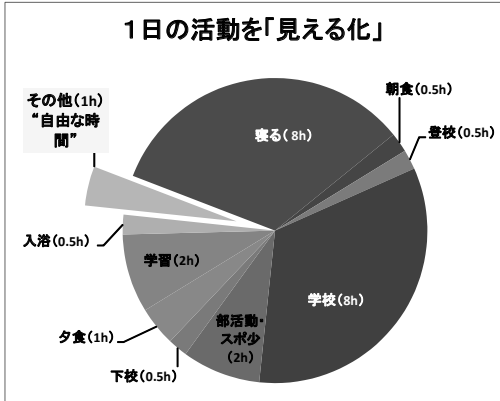
P.14 をご参照下さい。

「こんなときどうする？」		
目標 トラブルに遭ったときの解決方法を考え、子どもだけで解決しようとせず、大人に相談することが大切であることを知る。		
学習活動	教師の支援	準備物
1 サイトからの不当請求が届いた事例を紹介する。	・イメージを高められるように、具体的な状況を設定する。	
ネット利用でトラブルに遭ったとき、どのように解決しますか。		
2 ネット利用でトラブルに遭ったとき、自分は誰と解決するかを考える。	・誰（家族、友達、一人等）と解決するのか、その理由もあわせてワークシートに記入する。 ◎予想される子どもの反応 ・家族（一番頼れる） ・友達（家族に言うとながれる） ・先生（ネットに詳しい） ・一人（誰にも知られたくない）	・ワークシート
3 誰と解決するか話し合う。	・意見を出しやすいように、少人数のグループで話し合う場を設定する。	
4 実際に解決するにはどのような手順が必要なのかを知り、誰に相談すればよいか考える。	・解決するためには、様々な知識や経験、関係機関とのネットワークが必要であり、子どもだけでは解決しにくいことに気付くようにする。	
トラブルに遭ったときは、隠さずに問題が小さいうちに大人に相談しよう。		
5 本時のまとめをする。	・関連する「うまホと学ぼう！ネット利用」の記事を読む。 ・学校の先生（担任、養護教諭等）も味方になることを伝える。 ・トラブルに遭わない使い方をすることが一番大切であることを伝える。	・ネット利用⑭⑳

②「動画も簡単に発信できちゃうね？」

P.20 をご参照下さい。

「たくさんの人に喜んでもらえる動画を投稿しよう」 ※2時間		
目標 動画にはたくさんの情報が含まれているため、プライバシー情報に気を付けて発信する必要があることを知る。		
学習活動	教師の支援	準備物
1 ネット上の投稿動画を観て思ったことを話し合う。	・プライバシー情報の多い投稿動画を紹介し、それを不特定多数の人が視聴していることの危険性に気付かせる。	・投稿動画
たくさんの人に喜んでもらえる動画を作って投稿してみよう。		
2 どんなことに気を付けて動画を作成するか話し合う。	◎予想される子どもの反応 ・時間が長すぎないようにする。 ・個人情報を出し過ぎない。 ・たくさんの人が観るので下品にならないようにする。 ・特定の人だけが楽しめる内容にしない。 ・嘘の情報を流さない。	
3 グループで動画を作成する。	・動画作成する時間がかかりすぎないように、3分程度の動画にする。	・iPad
4 グループで作成した動画を視聴し、意見を出し合う。	・不特定多数の人が視聴することを意識して作られているか、意見を出し合う場を設定する。	
5 うまホの記事に見出しをつけ、本時のまとめをする。	・見出しをつける作業を通し、動画投稿について気を付ける点をまとめる。 うまホと学ぼう!ネット利用 記事 ※ 記事 見出し	・うまホと学ぼう！ネット利用②の見出しを抜いた記事
動画にはたくさんの情報が含まれるため、投稿する時にはプライバシーに十分気を付ける。		

「家庭でルールを作ろう」 ※ P T A 授業参観で親子一緒に活動		
目標 自分が使用している機器の利用目的や一日の生活の仕方を振り返り、親子で話し合って、適切な利用ルールを考えることができる。		
学習活動	教師の支援	準備物
1 自分が使っているネット機器等について、どのような使い方をしているか考える。	・利用目的、利用時間と家庭でのルールの有無について確認する。	
家族でネット機器等の使い方のルールを考えよう。		
2 うまホと学ぼう！ネット利用の記事を読み、一日の時間の使い方をグラフに表す。	・グラフに表し、一日の活動を「見える化」する。 1日の活動を「見える化」 	・うまホと学ぼう！ネット利用②⑦ ・24時間の円グラフ
3 グラフに表した結果を、家族で話し合う。	◎予想される子どもの反応 ・自由時間が思ったよりも少ない。 ・ネットやゲームばかりやっていたはだめだ。 ・もっと時間を大事に使わなければ。	
4 家族でルールを一つ作る。	・利用時間だけでなく、起床時間や困ったときに誰に相談するなどのルールでもよいことを伝える。	・短冊
一日の生活リズムや利用目的を考え、親子で話し合ってルールを作ることが大切である。		
5 本時のまとめをする。	・ルールは作って終わりではなく、定期的に話し合っ見直す必要があること、家族みんなでルールを守る姿勢が大切であることを伝える。	